

公明党福島復興加速化会議で要望



↑会議の様子

3月12日、福島市内で開催された公明党福島復興加速化会議に出席し、公明党の山口奈津男代表に対して、広野町の復興・再生への支援について要望しました。

会議には公明党山口代表のほか、高木経済産業副大臣、長沢復興副大臣など12人の国会議員も参加し、広野町の実情を踏まえた国などの支援を訴えました。

双葉地方水道企業団への財政支援等についての要望



↑要望活動の様子

3月28日、双葉地方水道企業団の復興庁、厚生労働省、経済産業省、環境省、自由民主党東日本大震災復興加速化本部、東京電力ホールディング㈱に対する要望活動に参加し、東日本大震災および原子力災害の影響により悪化した経営への財政支援や、木戸ダム湖底の汚泥引き抜き、小滝平浄水場の更新に係る財政措置などを求めました。

防災拠点・道の駅ひろの整備検討委員会から報告書



↑委員長から報告書を手渡される遠藤町長

3月21日、「防災拠点・道の駅ひろの」整備検討委員会が「防災拠点・道の駅ひろの」の基本計画にあたる整備検討報告書を遠藤町長に手渡しました。

報告書には全体面積を約9.5ヘクタールとし、ヘリポート、レストラン、直売所などのほか、防災教育施設も併せ持った施設とし、地元高校と連携した独自商品の開発や販売実習などの事業も盛り込まれました。

町は、この報告書を基に平成32年度の供用開始を目指し、関係機関と引き続き協議していきます。

浜通郵便局長がAEDを寄贈



↑浜通郵便局長会長からAEDを手渡される遠藤町長

3月22日、福島県浜通郵便局長会長の神谷会長（神谷郵便局長）と猪狩広野郵便局長が広野町役場を訪れ、遠藤町長にAED（自動体外式除動器）1台を手渡しました。

福島県浜通郵便局長会が東日本大震災並びに原子力災害からの復興に取り組む町村に対し、地域貢献活動の一環としてAEDを寄贈されたものです。

いただいたAEDは、町公共施設に設置する予定です。

天理教災害救援団体EARTHへ感謝状を贈呈



↑天理教災害救援団体EARTHのみなさん

3月14日、いわき市中央台高久第4仮設集会所でボランティア団体「天理教災害救援団体EARTH」に感謝状を贈呈しました。天理教災害救援団体EARTHは、平成23年から炊き出しイベント、散髪、清掃をほぼ毎月実施したほか、野菜などの支援物資の提供や門松飾りなどの支援活動を、中央台高久仮設住宅を中心に活動していただいたことから、同団体に感謝状を贈呈したものです。

感謝状は、町環境防災課の小松課長補佐から同団体代表の鶴巻裕二郎さんに手渡すとともに、これまでの支援に対し感謝の言葉を述べました。

ナースボランティアへ感謝状を贈呈



↑遠藤町長とナースボランティアのみなさん

3月4日、ボランティア団体「ナースボランティア」に感謝状を贈呈しました。ナースボランティアは、グローバルミッションという支援イベントで中央台高久仮設住宅に来たことがきっかけとなり、長野県や埼玉県などから集まった看護師が平成24年から健康相談や悩み相談などの支援事業を、中央台高久仮設住宅で毎月開催していただいたことから、同団体に感謝状を贈呈したものです。

感謝状は、遠藤町長から同団体代表の西澤美智子さんに手渡すとともに、これまでの支援に対し感謝の言葉を述べました。

手当の輪へ感謝状を贈呈



↑手当の輪のみなさん

3月15日、いわき市中央台高久第4仮設集会所でボランティア団体「手当の輪（代表：斉藤京子さん）」に感謝状を贈呈しました。手当の輪は、埼玉県和光市内で活動する団体で、平成23年からマッサージ資格を持った方によるマッサージや小物の支援物資提供など、中央台高久仮設住宅を中心に継続的に活動していただいたことから、同団体に感謝状を贈呈したものです。

感謝状は、町環境防災課の原課長補佐から同団体の浅野里香さんに手渡すとともに、これまでの支援に対し感謝の言葉を述べました。

農林中央金庫福島支店から木製ベンチが寄贈



↑目録と木製ベンチを手渡される遠藤町長

3月29日、農林中央金庫福島支店と双葉地方森林組合から木製ベンチ3脚を寄贈していただきました。

寄贈式には、農林中央金庫の船本福島支店長、双葉地方森林組合の秋元代表理事組合長が出席し、遠藤町長に目録を手渡しました。

寄贈された木製ベンチは、地域コミュニティを築く上で大切な共用スペースとして広野原団地で有効に使わせていただきます。